

クラウド型メールを突破口に、SaaSアプリケーション分野でのビジネス拡大を目指す

～「Bizメール」「Bizセキュリティ PCマネジメント」～

「いつでも、どこでも、安全・便利」なICT環境を実現するNTTコミュニケーションズ（以下、NTTコム）の「BizCITY」サービス。その中で、プラットフォームサービス部が取り組んでいる法人ユーザー向けSaaSアプリケーション事業の展開と、2010年度から新たに提供した2つのサービスについて紹介する。

グローバルプレイヤーに 負けない戦い

これまで日本の企業でICT投資といえばSIが中心であった。しかし今後のICT投資は、二極化すると考えられている。つまり、基幹システムなどの自社でシステムを「所有」するパターンと、クラウドを含めたアウトソース型のサービスをネットワーク経由で「利用」するパターンである。

実際、海外ではICTコストに占めるSI・パッケージ・サービスの割合が約1/3ずつと言われており、日本でも今後パッケージとサービスの割合が高まっていくと見られている。いわば、「持たざるICT」「賢く使うICT」の流れである。これは、ICT業界でグローバルプレイヤーとの競争がますます激化することも意味する。

こうした状況について、NTTコムのプラットフォームサービス部松田栄一部長は、「NTTコムが提供するクラウド型メールサービス『Bizメール』もグローバルプレイヤーとの熾烈な競争になっています。しかし、我々には、ICT業界のグローバルプレイヤーに負けない戦

いをしたいという強い思いがあります。サービスの機能面、コスト面、グローバル対応（多言語対応、マルチタイムゾーン等）の面でも十分対抗できるサービスに仕上げている、『サービスの見える化』や『日本品質』で差別化していきます。日本にもICTサービス分野で元気な事業者がいる、ということをお客様に訴えてゆきたいですね」と力強く語る。

グローバルプレイヤーとの真っ向勝負を挑む上で、NTTグループには大きな強みがある。NTTグループは、電気通信事業者としてネットワーク自体をマネジメントする立場にあるため、お客様のネットワーク環境に応じた高品質で信頼性の高いクラウド型サービスをワンストップで提供することが出来るのだ。

NTTコムでは、こうした強みを活かし、お客様とネットワーク・サービスをつなぎ、いつでもどこでも『安心・安全・便利』に使えるクラウド型サービスを『BizCITY』ブランドで展開している。具体的なサービスとしては、後述する「Bizメール」や「Bizセキュリティ PCマネジメント」をはじめ、「Bizホスティング」、「Bizストレージ」、「Bizマーケティング」などである。



NTTコミュニケーションズ(株)
プラットフォームサービス部
部長 松田 栄一氏

「NTTコムでは、『BizCITY』ブランドの様々なサービスを通して、企業のICTマネジメントを効率化し、グローバルな活動をICTでサポートすることで、日本の企業が元気になることをお手伝いしたいと考えています。」（松田栄一部長）

クラウド型大容量メールサービス 「Bizメール」

現在のビジネスシーンで、コミュニケーション手段の主役はメールだ。特に近年では、オフィス内だけでなく、どこでもメールを使うことが当たり前になり、利用端末もパソコンだけでなく、携帯やスマートフォンへと拡大している。

このように企業活動にとって欠かせない存在となっているメールであ

続きは本誌でご覧下さい。